

VII 学術活動・研究会活動

論文・総説

「月 14 回以下のトリプタン服用では仕事にならない片頭痛—どのように予防療法を選択するか—」

Dr.石崎公郁子 竹島多賀夫

BRAIN and NERVE 第 74 卷 第 5 号 : 479-484, 2022

「視神経脊髄炎を呈した事例の QOL 向上に向けた目標設定の工夫と行動変容アプローチ」

OT 川口悠子 齋藤佑樹

日本臨床作業療法研究 No.9 : 16-23, 2022

当院の回復期病棟に入院されていた患者様の作業療法介入経過をまとめました。指定難病のひとつである視神経脊髄炎を患った患者様に対し、ADOC という目標設定プロセスを支援するツールを用いて目標設定を工夫することで、患者様の大切な作業を共有することができました。そして、セルフケアの拡大や身体機能の改善のみならず、共有した大切な作業の再獲得支援を通じて QOL 向上に介入することが、患者様の「暮らし」のサポートに繋がることを示した実践報告です。

「運動系列学習記憶の定量的評価による軽度認知機能低下高齢者の判別」

OT 戸嶋和也 Dr.田丸司 西谷萌 野村正和 和坂俊昭 森田良文

生体医工学 60 卷 2-3 号 : 68-75, 2022

本研究の目的は、認知機能を定量化するシステムの開発です。認知機能の定量化は、軽度認知機能低下(MCI)の早期発見に貢献することができ認知症の予防にも繋がります。今回は運動学習に着目した定量化を試みました。そして MCI の特徴を反映できたのかについて調査した報告となります。研究の結果は、MCI の特徴を示す評価変数となる可能性を示すことができ、認知症の予防に貢献できる可能性が示されました。

「重度の下肢運動障害をきたした被殻出血患者における運動機能の改善に関与する予測因子」

PT 澤島佑規 矢部広樹 足立浩孝 田中善大

理学療法学 第 49 卷第 3 号 : 220-226, 2022

本論文は重度の下肢運動障害をきたした被殻出血患者を対象に、下肢運動機能の改善に関与する予測因子を調査した報告です。結果としましては、年齢と発症時の皮質脊髄路走行領域の損傷度、入棟時の座位保持能力が重要な予測因子と分かりました。本研究結果を参考に早期から予後予測に基づいた効果的なりハビリテーションが提供できるよう取り組んでまいりたいと考えております。

「Visuomotor Tracking Task for Enhancing Activity in Motor Areas of Stroke Patients」

Wasaka T, Ando K, Nomura M, Toshima K, Tamaru T, Morita Y

Brain sciences 2022 Aug 10;12(8):1063.

Colum 「頭痛の日・JPAC」 ～特集 令和の頭痛診療 プライマリ・ケア医のためのガイド～

Dr.石崎公郁子 菊井祥二 田畑かおり

medicina 第59巻 第13号：2460-2461, 2022

「国際頭痛分類の変遷とその意義」～特集 頭痛の臨床（その1）

Dr.石崎公郁子 竹島多賀夫

脳神経内科 第98巻 第3号：372-379, 2023

「群発頭痛以外の三叉神経・自律神経性頭痛」

Dr.石崎公郁子

あなたも名医！頭痛の診療ガイドライン 2021 準拠

ジェネラリストのための頭痛診療マスター jmedmook82, 2022年10月25日

学会発表

「脳卒中患者における回復期リハビリテーション病棟退棟3ヶ月後の復職状況」

PT 澤島祐規

第30回 愛知県理学療法学会 2022年4月23日・24日

「生活内の麻痺手使用頻度が向上した重度運動麻痺患者の事例報告～回復期病棟入会初期から ADOC-Hを用いたアプローチ」

OT 加藤愛菜 川口悠子

第30回 愛知県作業療法学会 2022年5月21日～6月5日

「脳卒中者に対する自動車運転評価後の実態調査」

OT 藤原香澄 猪飼大二郎 今井理乃

第59回日本リハビリテーション医学会学術集会 2022年6月23日

「運動系列学習記憶の定量化による認知機能低下の判別」

OT 戸嶋和也 西谷萌 一寸木佑 Dr.田丸司 和坂俊昭 森田良文

第61回生体医工学会大会 2022年6月28日～30日

Young Investigator's Award セッション 最優秀賞受賞

「ADOCの活用状況に関するスコアピングレビュー」

OT 西川可奈子 川口悠子 友利幸之介

「脳卒中後の手指巧緻動作低下に対する視覚フィードバックを用いた介入」

OT 山中信人 戸嶋和也 西谷萌 Dr.田丸司 森田良文

第56回日本作業療法学会 2022年9月16日～18日

「被殻出血患者における視床皮質路走行領域の損傷度を用いた表在感覚機能の重症度の予後予測」

PT 澤島佑規 矢部広樹 足立浩孝 田中善大

第38回東海北陸理学療法学会 2022年10月29日

「脳卒中後上肢麻痺による自動車運転のハンドル操作への影響について」

OT 松山勇大 坂東潤一 鷺見香穂 小林幹太 藤原香澄 今井理乃 猪飼大二郎

第6回リハビリテーション医学会秋季学術集会 2022年11月4日～6日

「外国人スタッフの受け入れと育成」

松永智香 Ns.小笠原広実 川村道子

第29回日本精神看護専門学術集会 in 島根 2022年11月19日

「回復期リハビリテーション看護の判断過程を意識するための指導プロセスレコードを通して」

Ns.小笠原広実

日本リハビリテーション看護学会第34回学術大会 2022年11月21日～12月20日

「群発頭痛の治療」～シンポジウム5 TACsの特徴と最新治療

Dr.石崎公郁子

第50回日本頭痛学会総会 2022年11月25日

「完全側臥位法を実施する上での当院における現状と課題—アンケート調査」

ST 星野智子 増木詩織 平野智帆 PT 伊藤良太

「回復期リハビリテーション病棟における気管切開患者のカニューレ抜去の可否に関連する因子」

ST 山脇佑太 増木詩織 平野智帆

「当院退院後の自動車運転再開患者の現状について」

OT 今井理乃 藤原香澄 猪飼大二郎

「失語症者への動画の反復利用によるフィードバックを組み合わせた modified CI 療法の事例報告」

OT 鍋島汐里

回復期リハビリテーション病棟協会 第 41 回研究大会 in 岡山 2023 年 2 月 24 日・25 日

研究会活動

「当院での自動車運転再開に向けた評価方法とその実績」

OT 小林幹太 鷺見香穂 坂東潤一 藤原香澄 今井理乃 松山勇大 猪飼大二郎

「当院職員における腰痛の実態調査と予防に対する取り組みの展望」

PT 奥山康博 足立浩孝 川瀬進也

第 12 回コンプリヘンシブ・リハビリテーション懇話会 2022 年 7 月 30 日

「脳卒中両麻痺患者のトイレ動作 1 人介助を目指した介入～空間認知機能低下・Pusher 症状の影響を考慮した検討」

PT 加藤里奈

令和 4 年度 第 2 回名古屋支部症例検討会 2023 年 3 月 26 日

講演等

「カルシウム拮抗薬、ベータ遮断薬、抗てんかん薬、抗うつ薬」～教育コース、片頭痛治療を極める～

Dr.石崎公郁子

第 63 回日本神経学会学術大会 2022 年 5 月 20 日

「外国人スタッフ受け入れと育成の実際～ともに学び、成長できる教育について考える～」

講師 Ns.澤田真紀 小笠原広実

学研メディカルサポートオンライン教育講演 (配信期間) 2022 年 7 月 1 日～31 日

「痙縮治療のこれまでとこれから～ボツリヌス療法を中心として～」

Dr.田丸司

痙縮治療を考える会 2022 年 10 月 22 日

「女性が輝くための片頭痛診療～新規治療薬の登場」

Dr.石崎公郁子

女性の悩みに寄り添う Web セミナー 働き盛りの女性の健康のために 2022 年 11 月 10 日

「群発頭痛～診察のポイント」

Dr.石崎公郁子

第3回 歯科医のための Headache Academy～三叉神経・自律神経性頭痛(TACs)の診かた～

2022年12月4日Ⅶ 学術活動・研究会活動

「当院での治療経験について」

ディスクッション～実臨床でのサフィナミドの最適症例を考える～

ディスクササー Dr.田丸司

Sahinameister's Conference in Aichi 2023年2月20日

シンポジウム「経営マネジメント職が語るMSWのポジショニング」

シンポジスト MSW 澤田昭宏

第17回愛知県医療ソーシャルワーカー学会 2023年2月25日

メディア掲載

「臨床現場の"多様性"を考える～外国人医療職者とともに働くということ」

MCW パラガス・ロイカネド Ns.林恵美 今田真衣

ナーシングキャンパス12月号、2022年11月10日発売

「透析も可能な回復期リハビリテーション病院」

病院長メッセージ 田丸司 ～取材記事掲載～

総合医療情報サイト：ホスピタルズ・ファイル

<https://hospitalsfile.doctorsfile.jp/h/1133176/>